

# 令和5年度 学校評価の概要

佐世保市立崎辺中学校

## 1 12月学校評価アンケートの結果（学校自己評価）

|        |        |         |        |        |
|--------|--------|---------|--------|--------|
| 【学校の姿】 | 職員 2.9 | 保護者 2.9 | 生徒 2.7 | 平均 2.8 |
| 【教師の姿】 | 職員 3.4 | 保護者 2.7 | 生徒 3.1 | 平均 3.0 |
| 【生徒の姿】 | 職員 2.4 | 保護者 2.5 | 生徒 2.8 | 平均 2.6 |
| 【全体平均】 | 職員 3.0 | 保護者 2.6 | 生徒 3.0 | 平均 2.8 |
| 【職場環境】 | 職員 3.0 |         |        |        |

### 【全体平均が3.0を超えた項目】

- 学校は、通信やホームページ等で学校の状況を知らせている。
- 学校は、環境衛生に努め、健康管理に関する教育を行っている。
- 学校は、生徒の安全を考えた取組をきちんと行っている。
- 教師は、生徒の成長を願い、一人ひとりを大切にしている。
- 教師は、学校の仕事に対して責任を持ち、一生懸命努力している。  
(サービス規律・事故防止)
- 教師は、生徒の心の健康に気を配っている。
- 教師は、道徳の授業をしっかりと行い、日頃からより良い生き方について指導をしている。

### 【全体平均が2.5以下の項目】

- △ 学校は活気があり、落ち着いて学ぶことのできる雰囲気である。
- △ 生徒は、ルールやマナーを身に付けている。
- △ 生徒は、家庭学習の習慣が身に付いている。
- △ 生徒は、読書や短歌づくりに積極的に取り組んでいる。

### 【全体的な傾向から】

- 保護者の数値が全体的に低い。
- 教師の姿の数値は職員が高く、生徒の姿の数値は生徒が高い。
- 教師の姿の数値が3.0以下の3項目については、真摯に受け止め、教師は指導力の向上に努めなければならない。(生徒理解・親しみやすさ・授業)
- 3.0を超える項目が少ない。生徒のより良い姿の実現こそが数値の上昇につながると考えられることから、保護者・地域との連携を深めながら、より良い学校づくりに邁進しなければならない。

### 【昨年度との比較】

- 職員の教師の姿の数値が昨年度よりも上昇している。「やっている」という自負の現れと考えられる。
- 「学校は、通信やホームページ等で学校の状況を知らせている。」の項目は三者とも数値が上昇しており、一定の成果と考えられる。

△ 全体的に数値が下がっており、より良い生徒の姿を追いつけなければならない。  
特に、数値の低下が著しい項目は以下のとおりである。

- ・ 学校は、校訓「質実剛健・親和敬愛」の精神の浸透と学校教育目標「確かな学力をもち、心豊かで、たくましく生き抜く生徒の育成」の実現が図られている。
- ・ 学校は教育環境が充実し、整備されている。
- ・ 学校は活気があり、落ち着いて学ぶことのできる雰囲気である。
- ・ 学校は、伝統や校風・地域の実態に応じた、崎辺中学校ならではの教育を行っている。
- ・ 学校は、食に関する教育活動をすすめている。
- ・ 教師は、正しい言葉遣いについて、適切に指導している。
- ・ 教師は、生徒の心の健康に気を配っている。
- ・ 崎辺中学校には、心豊かで思いやりのある生徒が多い。  
(生命・人権・平和を大切にする心)
- ・ 生徒は、ルールやマナーを身に付けている。
- ・ 生徒は、あいさつを良くしている。
- ・ 生徒は、家庭学習の習慣が身に付いている。
- ・ 生徒の体力は向上している。

## 2 次年度の課題

- ① 落ち着いて学ぶことができる活気ある学校づくり
- ② ルールやマナーを身に付けた生徒の育成
- ③ 学習に主体的に取り組む生徒の育成（授業・家庭学習・読書・短歌）
- ④ 働きやすい職場づくり（含 働き方改革）

## 3 学校関係者評価

（学校評議員4名・PTA会長1名・副会長3名の方に評価していただきました。）

| 項 目                         | 評価  |
|-----------------------------|-----|
| 昨年度の評価結果を踏まえた今年度の取組は適切であった。 | 3.8 |
| 学校が行った評価の評価項目などは適切である。      | 3.6 |
| 学校が行った評価は適切である。             | 3.6 |
| 学校経営の改善に向けた次年度の課題設定は適切である。  | 3.8 |

4…あてはまる 3…ややあてはまる 2…あまりあてはまらない 1…あてはまらない

ご意見（抜粋）

- 教師の姿で、教職員と保護者の考え方の違いが大きい。
- 次年度の崎辺中に期待し応援したいと思います。
- ルールやマナーを身につけた生徒の育成が必要だと思います。
- 中学時代は大人になる前の最も大事な時期だと思います。

- 崎辺中の学校教育目標に「確かな学力をもち心豊かでたくましく生き抜く生徒の育成」とあり、本当にその通りと思います。
- 学校経営の土台に「教育は人なり」とあり、先生も学び続けることが大切で、その姿を見ながら生徒は学んでいくと思います。
- 学校経営方針がよく見えて崎辺中は生徒が安心して学べる場ではないかと感じました。
- 地域と家庭とそして学校とのつながりの重要性を改めて認識しました。
- 子どもがもっと元気にあいさつしてくれるとうれしいです。
- 学校と保護者の間がもう少し縮まればいいなと思いました。もっと会話できる機会があればいいと思います。
- 子どもたちにとって「先生」は親以外の大人の最たる模範であるのは間違いありません。アンケート結果を見て、先生方の自己評価、そしてその指導を身近に受けている「子どもたち」が崎辺中学校の現状を「良好」と評価していることこそ「そういうことである」と思います。子育ては基本的には「親」の仕事ですね。子どもたちが立派な大人になるために、今後とも全力のサポートをよろしくお願いします。
- コロナもあり、保護者さんと関わりがなかった年月もあり、学校との関わりも少なくなったため、アンケート評価がしづらい点もあり、保護者数値が低かったのではないかと感じました。PTA活動で何か取組ができればと来年度の課題です。
- △ 公園でゴミを投げ捨てて散らかして遊んでいた中学生がいたそうです。そのゴミは、翌朝、町内会の役員さんが片付けられました。町内会では立札を立てました。